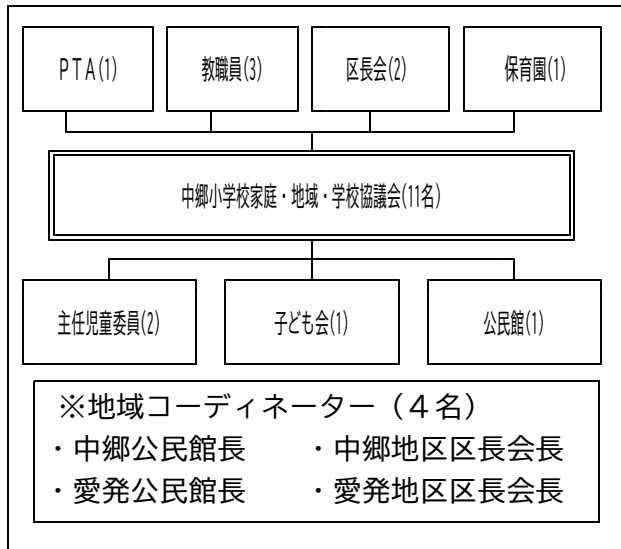


令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

敦賀市立中郷小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「地域・家庭・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

○開催予定回数 3回

○開催日程

- ・第1回 … 6月
- ・第2回 … 11月
- ・第3回 … 2月

○協議内容

- ・第1回 趣旨説明、「地域と進める体験活動」についての説明
- ・第2回 地域と進める体験活動の中間報告と今後の課題
- ・第3回 学校評価の報告
次年度の課題検討

(3) 協議会における成果と課題

- 【成果】協議会内での情報共有を密にし、子どもたちの活動に反映することができた。
- 【課題】協議会での検討内容をもっと先生方に発信していく必要がある。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

- フィールドワークおよび調べ学習を通して、地域への興味・関心を高め、中郷・愛発地区のもつ魅力を発掘する。
- 自ら課題を見つけ、発見したり考えたりしてわかったことを発信する活動を通して、地域の素晴らしさを実感・再確認し、地域に誇りをもち、新たな活力を生み出す児童を育てる。
- 地域の誇りを広く伝え、地域の未来に夢をもつ児童を育てる。

(2) 活動の実際

①古田苧かぶら栽培と調理・感謝祭（4年生）

地域の伝統野菜に興味を持ち、自分たちでも育ててみようとして、ゲストティーチャーの指導をうけながら、種まき・間引き・追肥・水やり・収穫と子どもたちの手で行った。収穫後は、指導者を招き、味噌汁にするとともに味わい、感謝祭を行った。



②「物の流れ」を追う（5年生）

「昔はどのようにして物を運んだのだろう」という疑問から、現地に出向き、保存会の方の指導のもと、「疋田舟川」で曳舟体験をしたり、「深坂古道」を歩き、交通の要衝である愛発の地の利や物の流れについて考えたりすることができた。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- 体験活動の内容の相談と活動への支援
- 各種団体との連絡調整

(4) 特に工夫した事項

- ゲストティーチャーを招き、生きた声で中郷・愛発地区の魅力にふれることができるようにした。
- より身近に地域を感じさせるために、実際に自分が体験することに重点を置いた。

(5) 成果と課題

学年ごとに系統立てて中郷・愛発地区の魅力再発見に2年間取り組んだ結果、地区の魅力を話せる児童や、ふるさと敦賀への愛着を感じている児童が確実に増えてきている。今後は校内研究とも合わせ、自分たちの大切なふるさとの魅力を自分の言葉で伝えることができる児童の育成に力を入れていきたい。